

つきがた 広報

第 38 号

昭和48年 1月

発行

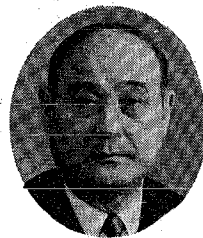
月 湯 村 役 場

人口移動 世帯数 (男)	12月31日現在	人口総数 3,869 女 2,012)	12月中の 出生 22 死亡 3	12月中の 異動 転入 12 転出 7
	784			
1857				



謹賀新年

月湯村長 本間國之輔



年にしたいと思えます。

自治体の発展は村民の一人一人が村政に参画すると云う愛郷の姿勢が大切なことではないでしょうか。私も村政を執行する責任者の立場として少しでもより良い方向に進む様驚馬にむち打ち、山横しであります諸施策に向って全力投球する覚悟を新たに致して居る様な次第でございます。よろしくご指導、ご支援を賜ります様お願い致します。

年の始めに当り、簡単ですが一言お礼と所感の一端を述べて新年のご挨拶と致します。

~~~~~

輝やかしい昭和四十八年の新春を迎えることが出来て村民の皆様と共に心からお慶び申し上げます。昨年一年を振り返って見ますと色々な事件がありました。軽井沢の「あさま山荘事件」を皮切りに、ハイジャックとか、夫婦が共謀して幼児を殺すとか、交通事故が頻発する等々いたましい事件が沢山ありました。然し嬉しいことは、その良し悪しは別問題として田中総理が誕生したことです。「決断と実行」をキャッチフレーズにして組閣されたが、今後経済問題、土地問題、列島改造問題、公害問題等国民生活に直結する難問題が山積している中で、首相の実行力に期待したいと思えます。

高物価が常に庶民の生活を圧迫致して居ります。犯罪が益々狂暴広域化している様であります。こう考えて見ると必ずしも良い年ではなかった様ですが、今年こそ良い

月湯村総合開発計画に沿い、水稻プラス畜産(酪農)の複合経営を実施している農家である。近年、畜産公害が問題化されている中で、堆きゅう肥は水田還元を重点とし、水田における地力を増進し、良質米生産、多収を目標に精進されておられます。

最近の厳しい農業情勢ではあるが、米を主体にプラスチックの安定的な農業経営への意欲が望まれます。

写真係、月湯村木清・大橋金吉氏、所有の牛舎である。